

北海道支部 2015 年度総会・研究会報告

北海道支部 支部代表 浦木康光（北海道大学大学院農学研究院）

庶務担当 重富顕吾（北海道大学大学院農学研究院）

北海道支部では、6月24日（水）に北見芸術文化ホールで第46回の北海道支部研究会を「国内外におけるCLTの開発動向」のテーマで開催しました。木造建築の限界を押し上げる新たな木材加工技術として近年注目される、Cross Laminated Timber (CLT)に関する様々な話題を5名の講師に提供頂き、研究者、企業など様々な立場から活発な議論が行われました。また、翌日の6月25日（木）には、協同組合オホーツクウッドピア（北見市）の見学会を行いました。会場では国内で2番目のCLT構造建築であるセミナーハウスを見学し、実際のCLT利用の現場について理解を深める好機となりました。参加者は両日とも100名に近く、北海道におけるCLTに対する期待の高さが窺えました。

また、この研究会に併せて、2015年度の支部総会を、研究会に先立ち開催しました。本年度から、支部活動の決定機関は支部の理事会となり、総会は学会本部の活動状況や、支部事業の報告の場となり議決の場ではなくなりましたが、2014年度の事業および決算報告と2015年度の事業計画とその予算案および役員交替について報告し、承認を得ました。これにより、浦木が正式な支部代表となると共に支部役員も入れ替わり、新体制となりました。このように、日本木材学会の一般社団法人化に合わせた形で適宜支部会則や運営体制を見直し、支部活動を維持しています。

北海道支部では来たる2015年11月13日（金）に、2015年度の研究発表会を旭川地場産業振興センター（旭川市）にて開催致します。口頭やポスターでの発表を予定しております。詳しくは支部HP (<http://www.agr.hokudai.ac.jp/wrsh/>) をご参照願います。



2015 年度研究発表会の様子



協同組合オホーツクウッドピア見学の様子